

カリキュラム

コースコード：25-112

タイトル	実践で学ぶ！5Sと目で見える管理			
サブタイトル	現場に定着させ継続できる5Sの取り組み方			
研修のねらい	生産現場において、すぐには必要とされない材料や工具、さらに仕掛品が数多くあると、作業を妨げムダを生み、企業利益を圧迫する原因にもなります。本研修では、現場でのムリ・ムダ・ムラを発見し、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）と「見える化」を実現する手順を学びます。また、インターバルを活用して実際に自社の5S活動に取り組むことで、現場改善と改善活動の定着手法を身につけます。			
研修の特徴	・5Sの視点で職場の問題点を把握する方法が学べます。 ・受講者各自が自社の5Sの状況を持ち寄り意見交換します。 ・インターバルを活用して実際に自社の5S改善に取り組みます。			
対象者	管理者、新任管理者 ・5 S 活動の推進リーダーの方 ・自社の5 S 活動を見直したい方 ・職場の整理・整頓をしたい管理部門の方	定員	20 名	
		研修期間/時間数	2025年6月5日(木)～6日(金) 7月3日(木)～4日(金)	
			4 日間（2日×2回）	27時間
		会場	中小企業大学校瀬戸校 1階 PC実習室	
		受講料	39,000円	
科目構成				
日付	時間	科目	内容	講師
6/5 (木)	9時20分～9時40分	開講式・オリエンテーション		
	9時40分～12時10分	5Sの重要性と 管理者の役割	生産現場で生じる問題とその要因を理解した上で、5Sに取り組む意味と活動を推進する管理者の役割を学びます。 ・生産現場でよくある問題と要因 ・5Sの目的 ・5S活動を推進するリーダーの役割	株式会社 ジェック経営コンサルタント 取締役 営業本部長 高田 忠直
	13時10分～17時40分	5Sの基本と5 S活動の 実施ステップ (演習)	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）のそれぞれの内容と実践方法を理解した上で、5S活動の進め方の手順とポイントを演習を交えて学びます。 ・5Sの実践ポイント ・5S活動の進め方（具体的な事例を写真で共有しながら理解を深める） ・定着する5S活動と定着しない5S活動 ・定点観測法の効果と取り組み方	
	18時10分～19時10分 受講者交流会			
6/6 (金)	9時00分～12時00分			
	13時00分～17時00分	目で見える管理の実践法 (演習)	目で見える管理の考え方と進め方を事例を通して学んだ上で、自社での実践の仕方を検討します。 ・目で見える管理の考え方と進め方、およびその効果と取り組み方 ・インターバル期間中の目標と行動計画 ・インターバル期間中の活動を効果的に進めるためのモチベーションについて	
インターバル課題：「職場での 5 S 活動の実践」		自社で 5 S 活動に取り組むからこそ得られる「活きた問題点」や「活きた気づき」を以て、活動の報告を取りまとめます。		
7/3 (木)	9時30分～12時30分	現場実践の振り返り	インターバルでの実践結果を振り返り、課題の整理を行います。 ・インターバルの振り返り（ディスカッション） ・改善ポイントの整理	
	13時30分～17時30分	ムリ・ムダ・ムラの発見と改善 (演習)	ムリ・ムダ・ムラの定義と発見の仕方、その対策の立て方について、ゲーム演習を交えて学びます。 ・ムリ・ムダ・ムラの意味と発生原因 ・三現主義の重要性と 5 S の活用 ・ムリ・ムダ・ムラの着眼点と対策	
7/4 (金)	9時00分～12時00分			
	13時00分～16時00分			
	16時10分～16時20分	閉講式		
講師氏名		略歴		
高田 忠直 （たかた ただなお） 株式会社 ジェック経営コンサルタント 取締役 営業本部長		2000年に株式会社ジェック経営コンサルタント（富山県）に入社し、製造業・運送業・倉庫業・食品加工業・飲食業など、幅広い業種で現場の声に即した「実践型」の支援を展開。幅広い業種に対して5Sを活用した企業体質改善の支援に取り組み、製造業では品質改善及び現場改善の推進とそれらを通じた管理者の成長、運送業では無事故・経費削減とドライバーの意識改善、飲食業では接客改善と予約件数増加等、多数の支援実績と成果を誇る。また、2016年には海外（カンボジア）での5S活動研修を実施。「会社で働く仲間の気持ち一つで企業は成長できる！」という信念の下で、「曖昧排除・凡事徹底」と「明るく・楽しく・元氣よく挑戦しよう！」をスローガンにしてコンサルティングを行っている。		